

学校教育目標 心豊かな「なかじまっ子」の育成 なかよく あかるい子 かんがえ くふうする子 じょうぶで ねばりづよい子 まじめで よくはたらく子
--

目指す学校像(ビジョン) (1) 児童が、楽しくのびのびと学ぶことができる学校 (2) 児童が自らよく考え、自ら判断し行動する学校 (3) 自尊感情を大切に、命を大切にする学校 (4) 児童、教職員が一体となり、環境整備、美化活動に取り組む学校 (5) 規範性、感性、体力、コミュニケーション能力を育てる学校 (6) 教職員自らを開き、相互信頼と協働態勢のある学校

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	中間評価	
				取組状況・成果・課題	今後の見通し
学力の向上	児童の自己肯定感を高める指導方法・評価方法の工夫・改善を図り、分かる授業を創造することによって、確かな学力を育てる。	児童が成就感や自己肯定感をもつかかわり合う場を大切に授業を行う。	授業の中で、児童が成就感や自己肯定感をもてるような手立てを工夫する。 ・聞き方や話し方、ペア・グループ学習、異学年交流など ・評価の工夫(ほめ言葉、ノート指導、家庭学習指導など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度より、聞き方・話し方を掲示し、ペア・グループ学習とともに継続して指導に取り組んでいる。 ・ 全体や児童各々に対して、以前と比べて伸びたところを評価している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとに感想や気付きをまとめさせ、より丁寧に目を通すことで、児童の成長や思いを把握していく。 ・ 話し合ったり教え合ったりすることで、お互いに自信を付け、成就感をもてる場となるペア・グループ学習をより充実させていく。
豊かな人間性の育成	望ましい生活習慣、正しい判断力、思いやりの心などの豊かな人間性の育成に努める。	道徳における指導者の授業力向上を目指し、道徳の時間を充実させる。 【設定理由】 近年の実態及び新教育課程の実施のための重点課題として、道徳教育の充実を重点目標とする。	主として自分自身に関することに焦点を当て、協同学習を取り入れて、児童を「ねらいとする道徳的価値の自覚」へと深める授業実践を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月に指導第二課の藤井指導主事から道徳についての基本的な考え方について講話をいただき研究の方向性を見出すことができた。 ・ 6月の参観授業では、全クラス道徳に取り組み、ねらいとする道徳的価値について、児童一人一人が自分の考えをもち、お互いの考えを交流し合い、深めることができた。 ・ 7月に研究授業、付箋紙を使った研究協議会をもち、道徳授業の展開の仕方や協議会のもち方、研究の進め方などについて、広島大学大学院の鈴木由美子教授に指導・助言をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度当初の研究の話し合いでは、第一年次に当たる今年「主として自分自身に関すること」に焦点を当て、研究をすることにしてはいたが、児童実態から、「主として自分自身に関すること」では授業研究がしにくいという意見が出され、実際6月の授業では、半分の学年・学級しかなされていなかった。研究成果を積み上げるためにも、共通理解を図りながら、実態に合わせ柔軟に対処していきたい。
		学校生活のきまりを守ることを通して、基本的な生活習慣を育てる。	自分の身の回りを整えることができるように、教職員全員で意識統一して指導する。 ・ 名札 ・ 靴のはき方 ・ 服装 など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の学級指導と全職員の声かけにより、身だしなみに気を付ける児童が増えてきている。特に名札は、5月の名札調べで83%だったが、6月には89%に増えていた。服装についても指導しているが、名札ほど徹底されていない。 ・ 常に身だしなみを整えさせ、朝会を開始するようにした。 ・ 生徒指導だよりを発行し、教職員の意識統一を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今まで同様、学級指導や声かけをしっかりとすると共に、今まで以上に学校だよりなどで各家庭に呼びかけ、強化し、常時9割以上の児童が名札を付けることを目指す。 ・ 児童や教職員の意識統一や定着化を図るため、身だしなみを整えた後の朝会開始や、生徒指導だより発行を継続していく。
健康・安全教育の推進	安全教育、健康教育、体力づくりの推進を図る。	日常の学校生活における体力づくりの習慣化を図るとともに、協力・寛容の気持ち育てる。	外遊びを習慣づけることにより体力の向上を目指すとともに外遊びを通して学級・学年・異学年間の交流を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月当初から学級全体外遊びを実施することにより、学年・学級での外遊びに対する意欲が向上してきた。今後は異学年同士で外遊びを計画・実施することにより、さらに外遊びの幅を広げていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育朝会では、「はねるんるん」をテーマに跳躍力と俊敏性を高めることをねらいとして取り組み、体育の授業時にも実施できるように啓発していく。また、体育朝会等を利用して、外遊びメニューを紹介し、外遊びに対する意欲の向上に努めていきたい。
よまちなまちづくりの推進	地域に開かれた信頼される学校づくりに努め、地域の方と関わらう教育活動を推進する。	地域・保護者への情報発信を広げ、その内容を充実し、開かれた学校づくりに努める。	学校・学年だよりやホームページ・携帯メール、児童のポスター等を通して、行事を地域・保護者に知らせ、参加しやすい環境を作る。(朝会・集会・児童会活動など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽朝会・集会・体育朝会について、学校・学年だより・ホームページや携帯メールを通して知らせた。音楽集会等の後にアンケートを実施し、地域や保護者に知らせている。6月の音楽集会では、「とても優しい歌声で心が温かくなった。」「きれいな歌声を聞いて、さすがが良かった。」「それぞれの学年がそれぞれの良さを出し、とても良かった。」「次回も楽しみ。」等の声をいただいた。 ・ 児童のポスターについては、「夏休み作品募集」に載せている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、学校・学年だよりやホームページ・携帯メールを通して行事を地域・保護者に知らせ、参加を呼びかける。 ・ 継続して音楽朝会后等のアンケートを実施し、地域や保護者に知らせしていく。 ・ 児童のポスターを掲示する。賞状を作成し、渡す。